

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22102	事業名	行政情報システム事業(内部情報系)		評価分類	A1			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署			
	施策の大綱	06:行政経営		予算科目	会計	01:一般会計				
	基本施策	03:行政DXの推進			款	02:総務費				
	施策の方向	01:行政DXの推進基盤の整備			項	01:総務管理費				
重点プロジェクト	-		目		14:行政情報化推進費					
事業期間	H 22 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等	デジタル社会形成基本法		部	政策部			
課	DX推進室									

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	行政事務の効率化・迅速化を図るとともに、行政DXを推進するため、市職員が庁内事務等に使用するシステムの維持管理に努め、安定稼働させる必要がある。	市職員	市職員が庁内事務等に使用する内部情報システムが安定稼働し、行政事務の効率化・迅速化が図れている。	統合型内部情報システム、内部情報ネットワーク、統合型地理情報システム、人事給与システム、プリンタ制御システム、グループウェアパソコン等の機器及びシステムの維持管理を行う。また、保守期限を迎えるシステムの更新を行う。さらに、制度改正に伴うシステム改修を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○機器及びシステムの管理 ○制度改正に伴うシステム改修	○統合型内部情報システム更新 ○機器及びシステムの管理 ○制度改正に伴うシステム改修	○統合型地理情報システム更新 ○内部情報ネットワーク更新 ○機器及びシステムの管理	○グループウェアパソコン更新 ○機器及びシステムの管理				
	活動実績 (計画通り実施できたか)	システムの保守を適切に実施し、安定稼働させることができた。中でも、主要システムである統合型内部情報システムについては、クラウド化による有人監視等、適切にシステム保守を実施した。また、制度改正等に伴うシステム改修を円滑に実施したほか、令和5年度の統合型内部情報システム更新に向け、準備を行った。	内部情報システムについて、データセンター及び市庁舎において、監視や保守を適切に実施した。また、内部情報システムの主要システムである統合型内部情報システムを更新したほか、当該更新にあわせて、同システム内の文書管理システムに電子決裁を導入し、運用を開始した。	内部情報システムについて、データセンター及び市庁舎において、監視や保守を適切に実施した。また、内部情報システムのうち、人事給与システム、統合型地理情報システム及び内部情報系ネットワーク機器等を更新した。加えて、AI議事録作成支援システムを導入したほか、生成AIの展開に向けてワーキンググループを設置し、諸課題の整理を行った。					
計画額	事業費	90,500千円	74,400千円	75,400千円	68,265千円	79,200千円	63,365千円	82,200千円	
		国・県支出金	0千円						
		地方債	0千円						
		その他	2,300千円	2,262千円	2,000千円	1,516千円	2,000千円	2,805千円	2,800千円
		一般財源	88,200千円	72,138千円	73,400千円	66,749千円	77,200千円	60,560千円	79,400千円
決算額	事業費	73,448千円	73,448千円	67,764千円	67,764千円	62,758千円	62,758千円		
		国・県支出金	0千円		0千円		183千円		
		地方債	0千円		0千円		0千円		
		その他	2,106千円	2,106千円	1,491千円	1,491千円	2,761千円	2,761千円	
		一般財源	71,342千円	71,342千円	66,273千円	66,273千円	59,814千円	59,814千円	
①期間内計画額(R4-7)		327,300千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額	327,300千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	63,365千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	統合型内部情報システムの更新	成果		計画値 実績値		更新・稼働 更新・稼働		
	大規模なシステム障害件数	成果	件	計画値 実績値	0 0	0 0	0 0	0
				計画値 実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C) A 十分な成果を得た	内部情報系システムについて、大きなシステム障害なく、安定稼働させることにより、行政事務の効率化・迅速化を維持することができた。また、人事給与システム、統合型地理情報システム及び内部情報系ネットワーク機器等の更新について、円滑に実施し、システムの機能拡充やネットワークの安定化につなげることができた。加えて、AI議事録作成支援システムの導入により、更なる事務効率化を図ることができたほか、生成AIの展開に向けた環境整備が整った。

事業の対象	事業の目的
市職員	市職員が庁内事務等に使用する内部情報系システムが安定稼働し、行政事務の効率化・迅速化が図れている。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
行政事務の効率化・迅速化に継続して取り組むため、引き続き、内部情報系システムの監視や保守を適切に実施する必要がある。また、生成AI等新たなデジタル技術の展開による、更なる事務効率化を図る必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 引き続き、内部情報系システムの監視や保守を適切に実施するほか、生成AIの全庁展開により、更なる事務効率化を図り、人的資源を注力すべき業務に振り向ける。	令和8年度以降で対応するもの 保守期限等が到来するシステム及び機器等について、円滑に更新を実施し、行政事務の効率化・迅速化を維持するほか、新たなデジタル技術の展開による、更なる事務効率化を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴				
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	政策部 DX推進室長 宮崎 知己
最終評価者	政策部 DX推進室長 宮崎 知己